



平成27年8月14日  
教育委員会学校指導課  
(高校教育担当 222-3811)

「京都市立新設高校創設プロジェクト」に関する第1回有識者会議の開催について

- 洛陽工業高校跡地に新設予定の新しい普通科系高校については、本年6月に策定した「新しい普通科系高校の創設に関する基本方針」(別紙)に基づき、新校の教育内容や施設整備等について検討する「京都市立新設高校創設プロジェクト」(下記2(1)参照)を本年7月に設置し、新校のあり方や「育てたい生徒像」の具体化に向け議論を進めているところです。
- 本プロジェクトにおいて、有識者を招き、適宜指導助言を得るため、第1回有識者会議を下記の通り開催し、新校のあり方について有識者の方から御意見を頂戴いたします。

記

1. 第1回有識者会議について

- (1) 日時 平成27年8月20日(木) 午前9時30分～11時30分
- (2) 場所 京都市立西京高等学校 3階 会議室(中京区西ノ京東中合町1)
- (3) 内容 これまでの経過と今後の予定、「中間まとめ(案)」の報告等
- (4) 形態 公開・傍聴可能  
※ ただし10名を超える場合は抽選。  
※ 会議開始30分前から受付を開始し、5分前に締め切ります。

2. 検討組織の構成について

- (1) 「京都市立新設高校創設プロジェクト」会議(8名) ※原則非公開(内部検討組織のため)
  - ・塔南高校学校長, 中学校長会代表(七条中校長), 高等学校長会代表(西京高校長)
  - ・教育委員会: 指導部担当部長, 学校指導課担当課長, 首席指導主事, 課長補佐, 指導主事
  - ※その他, 塔南高校の教職員からなる「塔南高校あり方構想委員会」のメンバーも適宜会議に出席

(2) 有識者会議(5名) ※公開

氏名	役職等
きたがわ すけむ 北川 進	京都大学物質-細胞統合システム拠点長 京都大大学院工学研究科教授
みぞかみ しんいち 溝上 慎一	京都大学高等教育研究開発推進センター 教授
ただた やすし 武田 靖史	村田機械株式会社 取締役 業務支援本部 本部長
いまの けいこ 今野 圭子	中学校PTA代表(中P連庶務・近衛中会長) ※第1回有識者会議は今野氏が欠席のため、代理で中P連会計・久世中会長の今村志津子氏が出席予定
むらかみ ひさあき 村上 久明	高校PTA代表(高P連会長・西京高会長)

(連絡先)

京都市教育委員会事務局  
指導部学校指導課 高校教育担当 末房, 沖田  
tel: (075)222-3811, fax: (075)222-3751  
E-mail: qr762-okita@edu.city.kyoto.jp

## 京都市立洛陽工業高校跡地における 「新しい普通科系高校の創設に関する基本方針」

新しい普通科系高校（以下、新・普通科系高校）の創設に向け、下記の基本方針の下、教育内容や施設設備等の在り方について検討を進める。

### 記

#### 1 新・普通科系高校の創設に向けた考え方と方向性について

洛陽工業高校の跡地に関しては、平成28年4月の京都工学院高校の開校に伴い、平成29年度以降に活用が可能となる。平成26年8月に洛陽工業高校同窓会である洛陽京工会から「跡地の学校施設としての活用」要望が、また同年11月には塔南高校同窓会、愛校会、PTA、塔南高校の4団体から「立地、施設の老朽化や狭隘な状況等の課題解決に向け、洛陽工業高校跡地への移転」要望がそれぞれ教育長へ提出された。

塔南高校は、昭和38年、それまで普通科、工業科を併置していた洛陽高校及び伏見高校の普通科生徒を受け入れる形で設立されたものであり、洛陽工業高校と非常に深い所縁があり、こうしたことを踏まえるとともに高校教育に対する市民の高いニーズに応えることができることから、洛陽工業高校の跡地に塔南高校を移転・再編し、新・普通科系高校を創設する。

#### 2 目指す生徒像・学校の基本コンセプトについて

新・普通科系高校では、日本が目指す科学技術イノベーション立国の姿を見据えるとともに、塔南高校において教育界をはじめとする様々な分野で活躍する生徒を育ててきた教育風土をしっかりと引継ぎ、多様な分野で「社会に貢献する生徒の育成」を学校の最高目標とする。併せて、地域や企業、小・中学校と連携した教育実践や生徒の主体性や自律性を育ててきた教育風土を継承・発展させ、学校教育と実社会とのつながりを重視した教育活動を展開し、「国際的な視野を持って主体的に社会に参画し、自立して社会生活を営むために必要な力」の育成を目指した学校づくりを行う。

##### (1) 目指す生徒像

- ① 自らの将来像を描き、その到達に至る道筋と達成すべき課題を明確にして、目標の実現に向けチャレンジし続ける生徒
- ② 在校生はもとより、小・中学生や地域の方々等、世代や立場を超えた人々とも積極的に交流し、他者と協働して活動できる力を培い、多様な価値観や生き方を学びながら、自己の成長につなげることができる生徒

- ③ 国際化や情報化の進展する社会において，地域や社会の課題を多角的にとらえる視野を育み，科学技術分野や教育分野をはじめとする多様な分野で社会に貢献する気概を持って，社会的課題の解決や新しい価値の創造に向けて行動し，社会の発展に寄与することのできる生徒

## (2) 学校の基本コンセプト

### ① <生徒が主体的・自律的にいきいきと活動する学校>

学習活動はもとより，生徒会活動や部活動などすべての教育活動において生徒が自発的に，意欲をもって全力で取り組める環境を提供する学校

### ② <地域に貢献し地域とともに発展する学校>

地域の小・中学校との連携事業を継承・発展させるとともに，地域でのボランティア活動や伝統行事などに生徒が積極的に参画することを通して，地域の発展に貢献するなど，地域と共に歩む学校

### ③ <生徒の持つ可能性を引き出し，高める学校>

生徒が成りたい自分を描きながら，夢や希望を持って学校生活を送れるよう，個の可能性を最大限に引き出し，その実現に向けて，一人一人を徹底的に大切にしている学校

## 3 教育構想の具体化について

今後，塔南高校の教職員，教育委員会及び中学校・高等学校長会で構成するプロジェクトを組織し，「目指す生徒像」の下に「学校の基本コンセプト」を具体化するため，次の観点を中心に検討する。

なお，検討の過程において，適宜，有識者や保護者の方等から御意見をいただく。

### <検討の観点>

- ① 生徒が主体的・協働的に学習する授業への質的転換や高大接続改革など，国での教育改革の方向性を見据えた魅力あふれる教育課程の編成と授業の在り方，生徒会活動や部活動など生徒活動の在り方
- ② 小・中学校や地域団体をはじめ，地元企業や大学と連携した教育活動の在り方
- ③ 多様な分野において社会で貢献できる人材の育成に向け，生徒のキャリア発達を適切に支援し，多様な進路希望を実現する学校体制と指導の在り方
- ④ 新しい教育活動を展開するにふさわしい普通教室や特別教室，ICT 機器をはじめ，幅広い学習活動や部活動を展開するための施設・設備や学校規模の在り方